

# 平成 27 年度 事業報告

## I 健診事業

高齢化の急速な進展に伴い疾病構造も変化し、疾病全体に占めるがんなど悪性疾患や生活習慣病である高血圧症、糖尿病、脂質異常症等の疾病が増加し、これらの疾病が医療費に占める割合は約 3 分 1 となっている。国のがん対策推進基本計画(平成 24 年度から 28 年度)では、がん検診の受診率を 5 年以内に 50%達成を目標に掲げ、また特定健診等実施計画(平成 25 年度から 29 年度)では、特定健診受診率 70%、特定保健指導実施率 45%、メタボ減少率 25%達成を目標としており、県や市町村等一丸となって達成に向けて取り組んでいるなか、事業団は公益財団法人として、受診率向上に向け、県民の利便性に考慮した日程や体制により各種健診・検査を実施するとともに、県民から一層信頼を得る機関として、より精度の高い健診・検査事業の推進に努めた。

平成 27 年度は市町村総合健診実施日数が、昨年より上野原市で 4 日、大月市で 3 日減少したことなどにより特定健診、各がん検診等の総合検診受診者総数が 356 人減少した。

### 1 住民健康診査

#### (1) 特定健康診査

高齢者の医療確保に関する法律に基づく特定健診等を各医療保険者(市町村国保、被用者保険)及び広域連合を実施主体とする県下 12 市町村より委託を受け、平成 27 年度は、40 歳から 74 歳を対象とした特定健診 10,447 人、75 歳以上の後期高齢者の健診 3,020 人、39 歳以下の若年者の健診 949 人合せて 14,416 人の一般住民の健診を実施し、前年度と比較して 519 人減少した。メタボリックシンドローム判定結果の内訳は、基準該当 1,393 人(9.7%)、予備群該当 1,070 人(7.4%)、非該当 11,022 人(76.5%)、判定不能(項目不足ため)931 人(6.5%)であった。

#### 【特定健康診査等 ①メタボリック判定】

	市町村数	受診者数	メタボリック判定							
			基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
平成 23 年度	11	11,936	1,066	8.9%	1,507	12.6%	8,531	71.5%	832	7.0%
平成 24 年度	11	12,978	1,143	8.8%	1,130	8.7%	9,847	75.9%	858	6.6%
平成 25 年度	12	13,928	1,319	9.5%	1,174	8.4%	10,553	75.8%	882	6.3%
平成 26 年度	12	14,935	1,388	9.3%	1,346	9.0%	11,300	75.7%	901	6.0%
平成 27 年度	12	14,416	1,393	9.7%	1,070	7.4%	11,022	76.5%	931	6.5%
比較増減	0	▲519	5	—	▲276	—	▲278	—	30	—

#### 【特定健康診査等 ②階層化判定】

	市町村数	受診者数	階層化(保健指導レベル)判定							
			積極的支援		動機づけ支援		情報提供		判定不能	
平成 23 年度	11	9,491	559	5.9%	1,548	16.3%	7,379	77.7%	5	0.1%
平成 24 年度	11	10,375	318	3.1%	752	7.2%	9,304	89.7%	1	0.0%
平成 25 年度	12	10,198	233	2.9%	736	7.2%	9,221	90.4%	8	0.1%
平成 26 年度	12	10,892	224	2.1%	805	7.4%	9,863	90.6%	0	0.0%
平成 27 年度	12	10,447	213	2.0%	673	6.4%	9,561	91.5%	0	0.0%
比較増減	0	▲445	▲11	—	▲132	—	▲302	—	0	—

## (2) 特定保健指導

平成 27 年度、特定健診を実施した 12 市町村のうち 6 市町から特定保健指導を受託し、積極的支援 49 人、動機づけ支援 44 人の指導を実施した。

(平成 27 年度の特定保健指導は平成 28 年 8 月末まで継続中)

### 【特定保健指導実施状況】

	積極的支援					動機づけ支援				
	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
上野原市	6	7	9	18	5	5	6	8	46	32
都留市	7	34	36	27	24	—	—	—	—	—
富士川町	11	9	13	11	10	—	—	—	—	—
富士河口湖町	2	5	9	1	6	11	15	17	15	10
南部町	5	1	5	8	2	—	—	—	—	—
大月市				—	2				11	2
合計	31	56	72	65	49	16	21	25	72	44

※ 人数は、初回面接終了者数を計上

### 【特定保健指導結果】

平成 26 年度の実績で、最終評価終了者 128 人中メタボ脱出者は、26 人(20.3%)であった。

#### 平成 26 年度（市町村合計）

	積極的支援			動機づけ支援			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
初回面接終了者	49	16	65	46	26	72	95	42	137
途中終了者	4	2	6	2	1	3	6	3	9
最終評価終了者	45	14	59	44	25	69	89	39	128
メタボ脱出者	8	1	9	10	7	17	18	8	26
内服開始者	4	0	4	2	0	2	6	0	6

※ メタボ脱出者：最終評価時、腹囲・BMI ともメタボリックシンドローム判定基準以下を達成した者

※ 内服開始者：最終評価終了者中、支援期間内に高血圧・糖尿病・脂質異常症の内服を開始した者

## 2 各種がん検診

平成 27 年度は市町村総合健診で上野原市と大月市の実施日数減少の影響により、各種がん検診も減少となっている。

### (1) 胃がん検診

平成 27 年度は、県下 17 市町村の住民 10,379 人、県職員及び事業所職員等 3,537 人合せて 13,916 人の検診を実施し、前年度と比較して 615 人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は 1,221 人、要精検率 8.8%で、追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 891 人、精検受診率 73.0%であり、精密検査結果は、がん発見数 9 人(発見率 0.06%)であった。

#### 【胃がん検診実施状況】

(平成 28 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
平成 23 年度	16	14,747	1,717	11.6%	1,296	75.5%	9	0.06%	
平成 24 年度	16	14,619	1,340	9.2%	1,012	75.5%	9	0.06%	
平成 25 年度	17	14,221	1,428	10.0%	1,099	77.0%	7	0.05%	
平成 26 年度	17	14,531	1,406	9.7%	1,053	74.9%	11	0.08%	
平成 27 年度	17	13,916	1,221	8.8%	891	73.0%	9	0.06%	
内 訳	市町村	17	10,379	931	9.0%	709	76.2%	7	0.07%
	職域等	—	3,537	290	8.2%	182	62.8%	2	0.06%
比較増減	0	▲615	▲185	—	▲162	—	▲2	—	

#### 【精検結果内訳 (がんを除く)】

(平成 28 年 3 月末 現在)

	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	その他疾患	異常認めず
平成 23 年度	393	106	0	598	190
平成 24 年度	264	78	11	524	126
平成 25 年度	248	76	15	566	187
平成 26 年度	202	95	9	601	135
平成 27 年度	179	74	4	516	109

## (2) 肺がん検診

平成 27 年度は、県下 12 市町村の住民 15,628 人、県職員及び事業所職員等 3,770 人、合せて 19,398 人の検診を実施し、身延町住民検診（H26 実績 3,557 人）の受託減と上野原市、大月市の実施日数減少による影響を受け、前年度と比較して 4,291 人と大幅に減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は 499 人、要精検率 2.6%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 392 人、精検受診率 78.6%であり、精密検査結果は、がん発見数 8 人（発見率 0.04%）であった。

また、喫煙者（喫煙指数 600 以上）等を対象とした喀痰細胞診は、住民、職域合わせて 324 人が受診し、精密検査を要する者はなかった。

### 【胸部検診実施状況】

（平成 28 年 3 月末 現在）

		市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検受診率	がん 発見数	がん 発見率
平成 23 年度		11	21,585	459	2.1%	347	75.6%	6	0.03%
平成 24 年度		11	23,602	643	2.7%	539	83.8%	20	0.09%
平成 25 年度		13	23,203	609	2.6%	494	81.1%	10	0.04%
平成 26 年度		13	23,689	591	2.5%	447	75.6%	10	0.04%
平成 27 年度		12	19,398	499	2.6%	392	78.6%	8	0.04%
内 訳	市町村	12	15,628	448	2.9%	355	79.2%	8	0.05%
	職域等	—	3,770	51	1.4%	37	72.5%	0	—
比較増減		▲ 1	▲ 4,291	▲ 92	—	▲ 55	—	▲ 2	—

### 【肺がん喀痰細胞診実施状況】

（平成 28 年 3 月末 現在）

		市町村数	受診者数 (検体数)	異常認めず	追加検査	要精検者数	精検 受診者数	がん 発見数	がん 発見率
平成 23 年度		10	517	515	1	1	1	0	—
平成 24 年度		10	247	241	0	0	—	—	—
平成 25 年度		11	311	304	0	1	1	0	—
平成 26 年度		11	320	310	0	1	1	1	0.313%
平成 27 年度		11	324	315	0	0	—	—	—
内 訳	市町村	11	253	248	0	0	—	—	—
	職域等	—	71	67	0	0	—	—	—
比較増減		0	4	5	0	0	—	—	—

※ 検体不良による判定不能があり検体数と結果数は一致しない

### (3) 大腸がん検診

平成 27 年度、県下 12 市町村の住民 12,732 人、県職員及び事業所職員など 5,029 人合わせて 17,761 人の検診を実施した。上野原市、大月市の実施日数減少による影響もあったものの、市町村住民における国のがん検診推進事業(無料クーポン配布)の効果や職域での増加などもあり、前年度と比較して 62 人の減少に留まった。受診者のうち無料クーポン対象者は 1,808 人であった。

受診者のうち精密検査を要する者は 929 人で要精検率 5.2%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 552 人、精検受診率は 59.4%で、精密検査結果の内訳では、がん発見数 14 人(発見率 0.08%)であった。

#### 【大腸がん検診実施状況】

(平成 28 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
平成 23 年度	11	12,525	616	4.9%	321	52.1%	13	0.10%	
平成 24 年度	11	13,558	678	5.0%	424	62.5%	13	0.10%	
平成 25 年度	12	15,504	844	5.4%	544	64.5%	29	0.19%	
平成 26 年度	12	17,823	973	5.5%	505	51.9%	11	0.06%	
平成 27 年度	12	17,761	929	5.2%	552	59.4%	14	0.08%	
内 訳	市町村	12	12,732	733	5.8%	475	64.8%	12	0.09%
	職域等	—	5,029	196	3.9%	77	39.3%	2	0.04%
比較増減	0	▲62	▲44	—	47	—	3	—	

#### 【精検結果内訳(がんを除く)】

(平成 28 年 3 月末 現在)

	大腸ポリープ	大腸憩室	痔核・裂肛	その他	異常認めず
平成 23 年度	135	34	1	64	74
平成 24 年度	158	54	21	59	119
平成 25 年度	225	61	35	30	164
平成 26 年度	239	52	36	36	131
平成 27 年度	223	67	46	44	160

#### (4) 乳がん検診

平成 27 年度は、県下 15 市町村の住民 10,197 人、県教委及び事業所職員等 1,224 人、合わせて 11,421 人の検診を実施した。上野原市、大月市の受託日数減少にもかかわらず、無料クーポンや著名人の乳がんマスコミ報道等も後押しとなり、市町村、職域とも受診者が増え、前年度と比較して 155 人増加した。受診者のうち無料クーポン対象者は 617 人であった。

受診者のうち、精密検査を要する者 402 人で要精検率 3.5%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 333 人、精検受診率は 82.8%で、精密検査結果は、がん発見数 19 人(発見率 0.17%)であった。

検診内訳は、マンモグラフィのみ 5,804 人、視触診とマンモグラフィ併用 3,045 人、乳腺超音波検査のみ 1,332 人、視触診と超音波検査併用 1,176 人、マンモグラフィと超音波検査併用 63 人、その他 1 人であった。

#### 【乳がん検診実施状況】

(平成 28 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
平成 23 年度	11	8,013	516	6.4%	441	85.5%	12	0.15%	
平成 24 年度	11	8,709	372	4.3%	335	90.0%	18	0.21%	
平成 25 年度	13	9,390	358	3.8%	296	82.7%	16	0.17%	
平成 26 年度	15	11,266	399	3.5%	305	76.4%	8	0.07%	
平成 27 年度	15	11,421	402	3.5%	333	82.8%	19	0.17%	
内 訳	市町村	15	10,197	361	3.5%	303	83.9%	18	0.18%
	職域等	—	1,224	41	3.4%	30	73.2%	1	0.08%
比較増減	0	155	3	—	28	—	11	—	

#### 【精検結果内訳 (がんを除く)】

(平成 28 年 3 月末 現在)

	乳腺症	線維腺腫	乳腺のう胞	その他	異常認めず
平成 23 年度	78	27	72	37	215
平成 24 年度	57	38	44	46	132
平成 25 年度	48	36	34	50	112
平成 26 年度	43	27	50	46	131
平成 27 年度	48	39	49	48	130

#### 【平成 27 年度 実施方法別】

(平成 28 年 3 月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
マンモグラフィ	5,804	188	3.2%	162	86.2%	9	0.16%
視触診+マンモグラフィ	3,045	146	4.8%	116	79.5%	4	0.13%
乳腺超音波	1,332	29	2.2%	26	89.7%	4	0.30%
視触診+乳腺超音波	1,176	37	3.1%	28	75.7%	2	0.17%
マンモ+乳腺超音波	63	2	3.2%	1	50.0%	0	—
その他	1	0	—	—	—	—	—

## (5) 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診を事業団施設にて、協会けんぽ対象事業所健診及びレディース健診として実施した。平成 27 年度は、受診者 174 人で、前年度と比較して 12 人減少した。精密検査を要する者はいなかった。

### 【子宮頸がん検診実施状況】

(平成 28 年 3 月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数
平成 23 年度	177	0	—	—
平成 24 年度	139	4	2.9%	1
平成 25 年度	162	0	—	—
平成 26 年度	186	0	—	—
平成 27 年度	174	0	—	—
比較増減	▲12	0	—	—

## (6) 腹部超音波検診

上腹部臓器の肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓を検査し、平成 27 年度は、17 市町村の住民 21,284 人、事業所職員等 888 人合せて 22,172 人の検診を実施し、前年度と比較して 145 人減少した。受診者のうち精密検査を要する者は 675 人で要精検率 3.0%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 432 人、精検受診率は 64.0%で、精密検査結果は、肝がん 4 人、その他のがん 1 人の合計 5 人(発見率 0.02%)であった。

### 【腹部超音波検診実施状況】

(平成 28 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	
平成 23 年度	16	19,626	893	4.6%	557	62.4%	
平成 24 年度	16	20,454	1,083	5.3%	749	67.7%	
平成 25 年度	17	20,253	746	3.7%	533	71.5%	
平成 26 年度	17	22,317	926	4.2%	634	68.5%	
平成 27 年度	17	22,172	675	3.0%	432	64.0%	
内 訳	市町村	17	21,284	643	3.0%	425	66.1%
	職域等	—	888	32	3.6%	7	21.9%
比較増減	0	▲145	▲251	—	▲202	—	

### 【臓器別がん発見数】

(平成 28 年 3 月末 現在)

	肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	その他	計	がん発見率
平成 23 年度	3	1	2	3	3	12	0.06%
平成 24 年度	6	0	0	1	0	7	0.03%
平成 25 年度	6	1	2	1	2	12	0.06%
平成 26 年度	3	0	2	0	0	5	0.02%
平成 27 年度	4	0	0	0	1	5	0.02%

【臓器別疾患数】

(平成 28 年 3 月末 現在)

	肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	脾臓	その他	異常なし
平成 23 年度	215	259	115	76	5	49	58
平成 24 年度	192	230	71	85	1	88	75
平成 25 年度	109	105	56	102	2	87	60
平成 26 年度	158	124	56	103	1	45	85
平成 27 年度	110	87	30	81	0	31	64

(7) 前立腺がん検診（血液 PSA 検査）

平成 27 年度は、県下 10 市町村の住民 3,439 人、事業所職員等 425 人、合わせて 3,864 人実施し、前年度と比較して 151 人減少した。受診者のうち精密検査を要する者は 216 人で要精検率 5.6%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 120 人、精検受診率は 55.6%で、精密検査結果の内訳は、がん発見数 16 人(発見率 0.41%)でがん疑いの者 44 人であった。

【前立腺がん検診実施状況】

(平成 28 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	前立腺がん疑い	
平成 23 年度	9	2,745	116	4.2%	67	57.7%	8	0.29%	16	
平成 24 年度	9	3,406	154	4.5%	98	63.6%	18	0.53%	24	
平成 25 年度	10	3,664	231	6.3%	162	70.1%	26	0.71%	42	
平成 26 年度	10	4,015	229	5.7%	128	55.9%	9	0.22%	49	
平成 27 年度	10	3,864	216	5.6%	120	55.6%	16	0.41%	44	
内訳	市町村	10	3,439	203	5.9%	118	58.1%	16	0.47%	42
	職域等	—	425	13	3.1%	2	15.4%	0	—	2
比較増減	0	▲151	▲13	—	▲8	—	7	—	▲5	

【精検結果内訳・がん以外】

(平成 28 年 3 月末 現在)

	前立腺肥大	その他	異常認めず
平成 23 年度	21	2	20
平成 24 年度	27	13	16
平成 25 年度	39	12	43
平成 26 年度	35	12	23
平成 27 年度	27	12	21



## (8) フィブロスキャン検診

平成 27 年度は、早川町、富士川町、道志村、富士河口湖町の 4 町村で実施し、住民 242 人の検診を実施し、前年度と比較して 71 人減少した。

受診者のうち肝硬度値判定による要精検者は 11 人、肝脂肪量判定の要精検者は 53 人であった。

### 【フィブロスキャン検診実施状況】

	市町村数	受診者数	肝硬度値判定				肝脂肪量 (CAP) 判定			
			異常認めず	要観察	要精検	判定不能	異常認めず	要観察	要精検	判定不能
平成 25 年度	2	198	127	48	20	3	52	96	39	11
平成 26 年度	4	313	232	67	14	0	93	154	65	1
平成 27 年度	4	242	177	54	11	0	60	126	53	3
比較増減	0	▲71	▲55	▲13	▲3	0	▲33	▲28	▲12	2

## (9) 結核検診

平成 27 年度は、住民、事業所職員及び高校・大学生等、合わせて 41,480 人の検診を実施し、身延町住民検診 (H26 実績 3,557 人) の受託減と上野原市、大月市の実施日数減少による影響を受け、前年度と比較して 3,993 人と大幅に減少した。

受診者のうち精密検査を要する人は 1,060 人、要精検率 2.6%であった。追跡調査の結果、結核患者の発見はなかった。

### 【結核検診実施状況】

(平成 28 年 3 月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	結核患者数	その他疾患	異常認めず
平成 23 年度	45,963	663	1.4%	450	67.9%	0	261	186
平成 24 年度	46,546	827	1.8%	557	67.4%	0	172	385
平成 25 年度	45,117	770	1.7%	540	70.1%	0	314	226
平成 26 年度	45,473	1,511	3.3%	1,058	70.0%	0	690	368
平成 27 年度	41,480	1,060	2.6%	682	64.3%	0	582	100
比較増減	▲3,993	▲451	—	▲376	—	0		▲268

※ H26 年度からの要精検者数増加は、胸部 X 線検査のデジタル化による画像診断で、呼吸器疾患以外の疾患 (心肥大等) についての異常が判定可能となったため

### 3 職域健診

労働安全衛生法及び学校保健安全法に基づき市町村職員、市町村教職員と県職員、県教職員、大学(健康科学大学、県立大学、甲府看護専門学校等)、民間企業などを合わせて 16,540 人の健診を実施し、新規 2 事業所の獲得や小規模事業所を集約した健診での新規事業所取込などにより、前年度と比較して 285 人増加した。

#### 【職域健診実施状況】

	市町村教職員	市町村職員	県教職員	県職員	大学・ 専門学校	民間企業等	合 計
平成 23 年度	1,601	1,059	2,221	2,878	2,792	7,336	17,887
平成 24 年度	1,585	1,046	2,132	2,877	2,786	7,404	17,830
平成 25 年度	1,572	437	1,639	2,745	2,818	5,935	15,146
平成 26 年度	1,575	443	2,044	2,533	2,836	6,824	16,255
平成 27 年度	1,582	437	2,093	2,526	2,825	7,077	16,540
比較増減	7	▲6	49	▲7	▲11	253	285

## 4 学校保健安全法に基づく検診検査

### (1) 心臓検診

平成 27 年度は、県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒の心電図検査 11,074 人、心音図検査 377 人を実施した。前年度と比較して、心電図検査は 220 人減少、心音図検査では 39 人減少した。

心電図検査の要精検者数は 578 人、要精検率 5.2%で、心音図検査の要精検者数は 21 人、要精検率 5.6%であった。

#### 【心電図・心音図検査実施状況】

	心電図検査			心音図検査		
	受診者数	要精検者数	要精検率	受診者数	要精検者数	要精検率
平成 23 年度	12,275	538	4.4%	507	26	5.1%
平成 24 年度	12,086	568	4.7%	461	37	8.0%
平成 25 年度	11,815	616	5.2%	405	13	3.2%
平成 26 年度	11,294	515	4.6%	416	22	5.3%
平成 27 年度	11,074	578	5.2%	377	21	5.6%
比較増減	▲220	63	—	▲39	▲1	—

### (2) 寄生虫卵検査

平成 27 年度は、県立学校、市町村小学校の児童、保育園等の幼児、職員合わせて 40,418 人の検査を実施したが、安価で実施する検査機関への移行や少子化等の影響により、前年度と比較して 1,101 人減少した。寄生虫卵検査の保卵者数は 2 人、保卵率は 0.005%であった。

※学校保健安全法施行規則の改正により平成 28 年 4 月 1 日より児童、生徒等の健康診断において、寄生虫卵の有無の検査について、必須項目から除外されている。

#### 【寄生虫卵検査実施状況】

	受検者数	保卵者	蟯虫	その他	保卵率
平成 23 年度	48,446	7	7	0	0.014%
平成 24 年度	45,982	1	1	0	0.002%
平成 25 年度	44,752	3	3	0	0.007%
平成 26 年度	41,519	7	7	0	0.017%
平成 27 年度	40,418	0	2	0	0.005%
比較増減	▲1,101	▲7	▲5	0	—

### (3) 尿検査

平成 27 年度は、県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒及び保育園の幼児等 45,067 人の検査を実施した。他機関への移行や少子化等の影響により、前年度と比較して 555 人減少した。

1 次検査の陽性者 1,073 人(陽性率 2.4%)のうち、2 次検査を 959 人検査し、陽性者は 236 人(陽性率 24.6%)であった。

#### 【尿検査実施状況】

	第 1 次検査			第 2 次検査		
	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率
平成 23 年度	50,403	1,069	2.1%	900	173	19.2%
平成 24 年度	49,174	1,096	2.2%	923	201	21.8%
平成 25 年度	45,990	1,107	2.4%	968	223	23.0%
平成 26 年度	45,622	1,116	2.4%	1,005	228	22.7%
平成 27 年度	45,067	1,073	2.4%	959	236	24.6%
比較増減	▲555	▲43	—	▲46	8	—

	第 1 次検査 陽性者内訳				第 2 次検査 陽性者内訳			
	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血
平成 23 年度	58	160	820	31	15	14	139	5
平成 24 年度	44	262	758	32	10	41	140	10
平成 25 年度	45	267	769	26	12	47	153	11
平成 26 年度	35	330	715	36	11	74	127	16
平成 27 年度	25	270	745	33	11	60	148	17

### (4) 血液貧血検査

平成 27 年度は市町村教委の児童、生徒等の 461 人の検査を実施した。1 市の教育委員会の小・中学校で検査を中止した影響もあり、前年度に比較して 979 人減少した。

軽度異常者は 19 人(軽度異常率 4.1%)、要精検とされた者はなかった。

#### 【貧血検査実施状況】

	受診者数	軽度異常者数	軽度異常率	要精検者数	要精検率
平成 23 年度	1,506	74	4.9%	8	0.5%
平成 24 年度	1,470	54	3.7%	8	0.5%
平成 25 年度	1,452	44	3.0%	3	0.2%
平成 26 年度	1,440	60	4.2%	3	0.2%
平成 27 年度	461	19	4.1%	0	—
比較増減	979	▲41	—	▲3	—

## II がん対策

山梨県において昭和58年からがんは死亡原因の第1位であり、全死亡者の3分の1を占めている。また、国の推計によると、2人に1人が将来がんに罹り、3人に1人ががんで死亡するとされている。県は、平成24年4月から「山梨県がん対策推進条例」を施行し、「がん」の総合的な対策を推進している。

健康管理事業団は、県の委託を受け「がん患者サポートセンター」の運営などさまざまながん対策を行っている。

また、事業団は日本対がん協会山梨県支部を兼ねており、9月のがん征圧月間中に普及啓発などを集中的に展開した。さらに、県や関係機関主催の行事に幅広く参加し、がん検診受診率向上に向けた啓発活動を積極的に行った。

### 1 がん相談

「がん患者サポートセンター」は医師の面接（要予約・不定期）や毎週火曜日に保健師、ピアサポーターの面接及び電話による三位一体でがん患者の相談にあたり、がん患者やその家族の不安や悩みの解消に努めた。

医師相談	6件
保健師相談	59件
ピアサポーター相談	24件

### 2 医師によるがん・健康相談

県民の日記念行事（11月14・15日）において、15日（日）に来場者に向けて医師の面接相談を行った。

相談者	5名（がん相談 3名）
-----	-------------

### 3 受診率向上のための普及啓発活動

- ・がん征圧月間街頭キャンペーン  
9月15日 甲府駅周辺 参加者 24名
- ・いきいき山梨ねんりんピック  
9月26日 小瀬スポーツ公園 参加者 5名
- ・「検査と健康展」乳がん予防啓発キャンペーン  
11月 1日 イオンモール 参加者 2名
- ・県民の日記念行事  
11月14・15日 小瀬スポーツ公園 参加者 14名
- ・中小企業組合まつり・介護フェア  
3月13日 アイメッセ山梨 参加者 8名

### Ⅲ 普及啓発活動

#### 1 がん征圧月間のがん予防知識普及啓発

例年全国的に行われる9月のがん征圧月間行事として、がん予防に関する知識の普及啓発を図るラジオCM放送と新聞広告の掲載をするとともに、9月15日に甲府駅周辺において、県と県がん検診受診率向上プロジェクト企業5社、山梨ホスピス協会、がん患者サポートセンターでがん相談にあたっているがん経験者等の協力のもと、がん検診啓発のチラシ付フィルターコーヒーを配布し、がん征圧月間の周知とがん検診受診に向けた街頭キャンペーンを展開した。

そのほか、県下全市町村、医療機関、事業所等にごがん予防知識啓発用ポスター及びリーフレットを配布した。

#### 2 結核予防街頭キャンペーンの実施

結核予防週間（9月24日～30日）中に、全国一斉に展開される結核予防運動キャンペーンに併せ、本県においても県民の結核への関心を高めるとともに、結核予防に関する知識の普及啓発を図るため、9月25日に、JR甲府駅構内において、県の協力のもと、結核予防普及啓発資料の配布などによる結核予防街頭キャンペーンを実施した。

#### 3 講演会の開催

「認知症の予防」をテーマに山梨大学大学院 総合研究部医学域 精神神経医学講座 准教授 布村明彦 先生による講演会を行った。

社会の高齢化とともに患者数が増加している「認知症」について理解を深めるとともに、日頃の生活習慣の中でできる予防について考える機会とした。

3月 2日・山梨県立図書館 1F イベントスペース

出席者 200名

#### 4 各種イベントへの参加

県や関係機関が主催するイベントに積極的に参加し、簡易健康診断、結核・生活習慣病予防などに関するパネル展示及び各種パンフレットの配布などを次のとおり実施し、県民の健康づくりに対する意識の高揚に努めるとともに、事業団のPRを行った。

(1) 平成27年9月26日（土）

○ いきいき山梨ねんりんピック実行委員会主催「いきいき山梨ねんりんピック」  
於 小瀬スポーツ公園

- ・結核・がん予防啓発リーフレット及び冊子、がん検診受診勧奨資材等配布
- ・複十字シール募金の展開
- ・健康教育パネルの展示

(2) 平成27年11月 1日(日)

- 山梨県臨床衛生検査技師会主催「検査と健康展」 於 イオンモール
  - ・乳がん視触診モデルを使用した触診法の指導
  - ・乳がん自己触診法リーフレット、乳がん予防冊子、がん患者サポートセンターパンフレット等配布

(3) 平成27年11月14・15日(土・日)

- 県主催「第29回県民の日記念行事」 於 小瀬スポーツ公園
  - ・医師による「がん相談・健康相談」の実施 相談者 5名
  - ・血圧、骨密度、活力年齢測定
  - ・乳がん視触診モデル体験
  - ・結核・がん予防啓発リーフレット及び冊子、事業団パンフレット等配布
  - ・複十字シール募金の展開
  - ・健康教育パネルの展示

(4) 平成28年3月13日(日)

- 山梨県中小企業団体中央会主催「第21回中小企業組合まつり」
- 介護健康フェアinこうふ実行委員会外主催「第15回介護健康フェアinこうふ」
  - ・血圧脈波測定検査 於 アイメッセ山梨
  - ・保健師による生活習慣病指導
  - ・マンモグラフィ検査(無料) 受診者20名
  - ・結核・がん予防啓発リーフレット及び冊子、事業団パンフレット等配布
  - ・健康教育パネルの展示

## 5 ホームページの活用

ホームページを活用し、事業団組織及び経営理念、事業案内による検診事業全般の内容紹介、財務諸表など広く県民に情報発信し、事業団をPRするとともに、各種がん検診、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発に努めた。

## 6 健康教育用資料の貸出し

がん・結核予防・生活習慣病予防ビデオ、パネル等を健康教育用資料として、市町村並びに関係各機関へ配布、貸出しを行い、がん・結核予防・生活習慣病予防に対する認識と検診の重要性について普及啓発を行った。

## 7 その他広報資料の配付

事業団広報誌「健康管理事業団だより」を年4回発行している。また、結核予防会発行の「複十字」「健康の輪」、日本対がん協会発行の「対がん協会報」等を広報資料として市町村及び各関係機関等へ配付し、健康に関する知識の普及啓発に努めた。

#### IV 研修事業

1 当事業団は(公財)結核予防会、(公財)日本対がん協会、(公財)予防医学事業中央会のそれぞれの山梨県支部である。

各検診事業の充実を図るため、当該3団体が主催する研修会、協議会等に職員を参加させた。

	名 称	開 催 月 日	参加人員
結核 予 防 会	結核予防会ストレスチェック説明会	6月25日	2人
	結核予防会ネットワーク事業合同説明会	8月21日	1人
	平成27年度関東甲信越支部ブロック会議(茨城県)	11月20日	2人
	平成27年度結核予防会事業協議会総会 全国支部事務局長会議	2月26日	1人
日 本 対 が ん 協 会	平成27年度全国事務局長会議	6月29日	2人
	平成27年度がん征圧全国大会(群馬県)	9月3日～4日	1人
	平成27年度関東甲信越支部連絡協議会(埼玉県)	10月28日	1人
予 防 医 学 事 業 中 央 会	平成27年度保健指導セミナー	4月10日～11日	1人
	平成27年度第1回全国運営会議	7月1日	2人
	第33回全国情報統計研修会(福岡県)	8月26日～28日	2人
	平成27年度第2回全国運営会議(鳥取県)	10月7日	2人
	第60回予防医学事業推進全国大会(鳥取県)	10月8日	3人
	平成27年度予防医学事業推進関東甲信越地区会議(栃木県)	10月22日～23日	3人
	平成27年度全国業務研修会(大阪府)	1月14日～15日	5人
	生理機能検査(心電図)研修会	1月28日～29日	2人
	平成27年度50回予防医学技術運営会議(宮城県)	2月24日	1人
平成27年度50回予防医学技術研究会議(宮城県)	2月25日～26日	2人	

2 各種検診の高度化、多様化に対応するため、各関係団体等が主催する各種学会、研修会等へ職員を参加させた。

	名 称	開 催 月 日	参加人員
	〈総務部〉 公益財団法人・財団法人のための定期提出書類作成講座	4月8日	1人
	〈健診部・検査課〉 第69回細胞検査士教育セミナー	8月29日～30日	1人
	第27回日本超音波検査学会関東甲信越地方学術集会	11月14日～15日	1人
	第54回日本臨床細胞学会秋期大会in名古屋	11月20日～22日	1人
	超音波スクリーニング研修講演会2015有明	12月11日～12日	6人
	AMED佐川班研究説明会	1月16日	2人
	平成27年度 臨床検査精度管理調査報告会	3月4日	1人
	〈健診部・放射線課〉 第6回マンモグラフィシステムユーザー会	1月30日	1人
	第23回日本CT検診学会学術集会	2月11日～13日	2人



- 3 県内の8つの検診機関等で構成する山梨県検診実施機関連絡協議会が平成28年3月8日に開催され、事業団もこれに参画し、精度管理向上に向けた諸課題に取り組んだ。

## V 会議の開催

### 1 理事会・評議員会

- (1) 平成27年5月11日 第1回「理事会」(決議省略)  
役員候補者の決定等について可決承認された。
- (2) 平成27年5月20日 第1回「評議員会」(決議省略)  
役員を選任等について可決承認された。
- (3) 平成27年6月9日 第2回「理事会」 於 山梨県医師会6F会議室  
平成26年度事業報告、収支決算報告、平成27年度補正予算(案)、役員候補者の決定、平成27年度定時評議員会の開催について審議が行われ、可決承認された。
- (4) 平成27年6月26日 第2回「評議員会」 於 山梨県医師会6F会議室  
平成26年度事業報告、平成26年度収支決算報告、役員候補者の辞任及び選任について等審議が行われ、可決承認された。
- (5) 平成27年6月26日 第3回「理事会」(決議省略)  
役員を選定、理事への使用人職務の委嘱について審議が行われた。
- (6) 平成28年3月22日 第4回「理事会」 於 山梨県医師会館6F会議室  
平成28年度主要事業・課題、事業計画(案)、収支予算(案)、就業規程の改定、ストレスチェック制度実施規程の制定等について審議が行われ、可決承認された。

### 2 経営評価委員会

事業団の自主的な運営体制の確立を目的とし、今後の経営状況や経営強化の実施状況について適切な評価を行うため、外部の経営専門家として税理士等3名を構成メンバーとした、経営評価委員会を平成28年2月6日に開催し、事業団の経営状況、施設整備検討状況等について委員の方々から意見をいただいた。

## VI 救急医療情報センター運営業務

当センターは、平成元年4月1日から、全県ネットワークの医療情報システムの開始に伴い、県から同システムの業務委託を受けて、医師会をはじめ、医療機関並びに各市町村などの協力を得ながら、適切な医療情報の提供に努めている。平成27年度の救急案内件数は19,656件で、前年度と比較すると紹介件数は概ね同様な推移を示した。

現在、24時間体制で、県民からの医療機関及び当番医の照会に対し、適切な情報提供を行う業務を実施している。

### 1 業務内容

- (1) 情報の収集業務（医療機関に設置された端末装置による応需情報の収集）
- (2) 情報の提供業務（患者の症状、発生場所に応じた適切な医療機関の情報提供）
- (3) 各種統計の作成業務

### 2 年度別案内件数 (件)

年度	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
件数	2,561	3,693	4,446	4,618	5,405	5,905	6,358	7,585	7,133	8,186
年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
件数	9,465	11,292	12,940	12,267	12,900	13,844	14,905	15,384	15,109	16,145
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	合計		
件数	21,254	19,368	18,917	19,333	18,642	19,687	19,656	326,998		

### 3 案内状況 (件)

種 別		平成26年度	平成27年度
救急医療情報センター案内件数		19,687	19,656
受付時間別案内件数	深夜（0時～8時）	2,280	2,420
	日中（8時～18時）	10,310	10,054
	準夜（18時～24時）	7,097	7,182
診療科目別案内件数	内 科	7,044	6,475
	小 児 科	2,446	2,516
	外 科	1,880	1,941
	整 形 外 科	2,844	2,816
	眼 科	1,186	1,151
	耳鼻咽喉科	1,169	1,274
	歯 科	1,115	1,256
	脳神経外科	656	594
	皮 膚 科	420	520
	産 婦 人 科	178	177
	泌 尿 器 科	207	238
	精 神 神 経 科	64	83
	そ の 他	478	615
計	19,687	19,656	